

【 国家基本政策委員会 】

(1) 審議概観

第151回国会において、本委員会は、国家の基本政策に関する調査について、衆議院国家基本政策委員会と合同審査会を5回開き、森内閣総理大臣、小泉内閣総理大臣と討議を行った。

〔国政調査等〕

国家基本政策委員会合同審査会は、5回開かれ、鳩山由紀夫君、志位和夫君、土井たか子君、小沢一郎君（第2回を除く）が発言者となって、森内閣総理大臣（第1回、第2回）、小泉内閣総理大臣（第3回～第5回）との間で討議が行われた。

なお、会期中、国家基本政策委員会両院合同幹事会において、討議配分時間の拡大、合同審査会の開催回数の増加等、合同審査会の運営の見直しについて議論が行われたが、与野党間で意見の一致を見るに至らなかった。

2月14日の合同審査会（第1回）では、堀之内久男衆議院国家基本政策委員長が会長を務め、米原潜とえひめ丸衝突事故における総理の対応、外務省機密費の疑惑解明の必要性、額賀前大臣辞任についての認識、日本のリーダーとしての総理の役割等について討議が行われた。

4月4日の合同審査会（第2回）では、本岡昭次参議院国家基本政策委員長が会長を務め、京都議定書の発効に向けた我が国の働きかけの重要性、経済成長に頼らない財政再建のシナリオづくり、企業利益回復を家計消費回復の前提とした政策の妥当性等について討議が行われた。

6月6日の合同審査会（第3回）では、堀之内久男衆議院国家基本政策委員長が会長を務めるとともに、4月26日の小泉内閣発足後初めて小泉内閣総理大臣が出席し、衆院選における「1票の格差」の是正、これまでの不良債権処理方法の妥当性、参院選までに道路特定財源改革の方向性を明示する必要性、集团的自衛権の研究を進めることの是非、米ミサイル防衛構想への研究参加が集团的自衛権行使に当たる可能性、特殊法人改革の背景にある国家像等について討議が行われた。

6月13日の合同審査会（第4回）では、本岡昭次参議院国家基本政策委員長が会長を務め、京都議定書の発効に向けた政府の対応、米ミサイル防衛構想がもたらす軍拡への懸念、不良債権処理に伴う中小企業大量倒産への懸念、海外被爆者の救済策の必要性、総理の改革が目指す行財政構造の全体像等について討議が行われた。

6月20日の合同審査会（第5回）では、堀之内久男衆議院国家基本政策委員長が会長を務め、京都議定書の批准決断の必要性、機密費上納問題の解明策、公務員の天下り規制、靖国神社に代わる国立墓地の設置、介護保険制度改善のための緊急措置、総理が目指す社会の姿と理念等について討議が行われた。

(2) 委員会経過

○平成13年2月7日（水）（第1回）

- 理事を選任した。
 - 国家の基本政策に関する調査を行うことを決定した。
 - 国家の基本政策に関する調査について合同審査会を開会することを決定した。
-

○平成13年2月14日（水）（合同審査会 第1回）

- 国家の基本政策に関する件について鳩山由紀夫君、志位和夫君、土井たか子君及び小沢一郎君が森内閣総理大臣と討議を行った。

○平成13年4月4日（水）（合同審査会 第2回）

- 国家の基本政策に関する件について鳩山由紀夫君、志位和夫君及び土井たか子君が森内閣総理大臣と討議を行った。

○平成13年6月6日（水）（合同審査会 第3回）

- 国家の基本政策に関する件について鳩山由紀夫君、志位和夫君、土井たか子君及び小沢一郎君が小泉内閣総理大臣と討議を行った。

○平成13年6月13日（水）（合同審査会 第4回）

- 国家の基本政策に関する件について鳩山由紀夫君、志位和夫君、土井たか子君及び小沢一郎君が小泉内閣総理大臣と討議を行った。

○平成13年6月20日（水）（合同審査会 第5回）

- 国家の基本政策に関する件について鳩山由紀夫君、志位和夫君、土井たか子君及び小沢一郎君が小泉内閣総理大臣と討議を行った。